

○司会 おはようございます。

それでは本日のヒアリング、意見交換会を始めさせていただきたいと思います。

はじめに東京都トラック協会の皆様でございます。

（東京都トラック協会 入室）

（要望書手交）

○司会 東京都トラック協会の皆様、本日は貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございます。

また、先日は急遽の日程変更にご協力いただきまして、ありがとうございます。

それではヒアリング、意見交換会を始めさせていただきたいと思います。

はじめに小池知事からお願いいたします。

○小池知事 おはようございます。浅井会長はじめとするトラック協会の皆様方には、平素よりの都政に対してのご支援、誠にありがとうございます。

本日ヒアリングの機会に都庁にお越しいただきありがとうございます。

現場のお声を直接聞かせていただきたいということで、よろしく願い申し上げます。

また、災害時の救援物資等の輸送、大変重要な役割を担っていただいております。感謝を申し上げます。

中国に対しての防護服等の輸送のときも、バタバタの中でご協力しっかりいただいた件、改めて御礼申し上げます。

それから2020大会、1年延びておりますけれども、何としてでもこれは東京と日本のためにも、しっかりとやり遂げなければならないと考えております。またその際は2020 TDM推進プロジェクトにもご協力いただいておりますので、円滑な大会輸送の実現、そして都市活動の維持との両立を図っていききたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

短い時間ですが、よろしくお願い申し上げます。

○司会 いただきましたご要望につきましては、こちらタブレットの方で拝見をさせていただきます。

それではよろしくお願いいたします。

○東京都トラック協会（浅井会長） 東京都トラック協会、浅井でございます。よろしくお願いいたします。

日頃から小池知事をはじめ、都庁の皆様には当協会の事業に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

これまで知事から私ども物流機能を守るものはエッセンシャルワーカーという言葉を受継いでおります。

このお言葉は、私どもには用務の誇りとなり、困難な状況下において大変心強いものとなっております。

お言葉を頂いたことに、この場をお借りしまして、まず御礼を申し上げたいと思います。

それではウィズコロナ、ポストコロナを見据えた取り組みでございます。

当協会のコロナの対応といたしましては、毎日の始業点検時の検温、デジタル体温計等の配布等を行っております。

作業時のマスクの装着、消毒の徹底を行っております。

会員の会社でのクラスターの発生という報告はございませんので、うまくいってるのではないかなと思っております。

各種打ち合わせ、受発注といった業務手続につきましても、より一層のオンライン化、電子化に取り組んでいるところでございます。

各会員、当協会業務においてもウェブ会議環境を整備する等、行っております。

ポストコロナでございますが、従前より当協会は労働集約産業であり、労働生産性の低い長時間労働、かつ低賃金の状況に置かれております。

トラック協会といたしましては、このような事業の弱点をなくすために、労働生産性を向上させ、働きやすい、働きたくなる職場を作っていくことが必要だと考えております。

つきましてはDX、デジタルトランスフォーメーションを推進し、以下に挙げます施策を展開できればと考えております。

まずIoTにおける、車でございますけれども、車両位置情報の的確な把握を通じまして、正確な道路情報、これはETC2.0が搭載されて、高速道路におきましては膨大なビッグデータがもう蓄積されていると思っております。

こういったものにより、AIを利用した効率的な配車ということを、これから考えていきたいと思っております。

2番目といたしましては、既にやっておりますが、インターネットの求荷求車情報というものの、これの利用の促進でございます。

3番目は倉庫より、海上コンテナの荷受け、荷降ろしの予約システムによる荷待ち時間の解消等が考えられるのではないかとということです。

自動運転につきましては、高速道路上でテスト中でございます。これらも考えていくことだと思っております。

あとIT、我々点呼しておりますけれども、IT点呼の推進。これはロボット点呼等がこれから考えられるのではないかと考えております。一部、今テスト中でございます。

それと特殊車両通行許可のオンライン申請等も、これからどんどん進んでいくと思っております。

また、ゼロエミッション、CO2削減が今後の方向性であると理解しております。

残念ながら乗用車のような抜本的な排気ガスの出ない貨物トラックの開発が行えるまでは、先に述べました労働生産性の向上をはかりつつ、既存のもので燃費のさらなる改善に努めていかなければならないと思っております。

当協会が行っておりますグリーンエコプロジェクトのさらなる浸透を図ってまいりたいと思っております。

また、貨物輸送評価制度の充実強化の支援をお願いするところでございます。

本年に入りまして、貨物輸送量の急激な減少によって輸送効率が大幅に減少する等、事業者の経営努力の範疇を超えた事業の悪影響が生じております。

知事のお手元にあります要望書にも、当トラック輸送事業が安定した都民生活を確保するために必要な要望事項をお示ししてございます。

これらの要望のうち、特に本日重点的な支援をお願いしたいのは、要望書の1項目の新型コロナウイルス感染症対策支援の充実でございます。

売上が減少する中、持続化給付金、家賃支援給付金の給付対象条件にいたりませんが、多くの企業が損益分岐点を超えた売上減少に陥っております。赤字経営を余儀なくされておるところでございます。

特にこれは東京都にあればでございますが、地方と比べまして、やはり車庫代というものが大変掛かります。

車庫代が高いという東京独自の問題がございまして、経済的な大きな重荷となっております。格段のご配慮をお願いできればと思っております。

また、トラックドライバーをはじめ、トラック運送事業の従事者はコロナの感染防止に万全の処置を講じながら、都民生活に不可欠な食料や日用品、医療活動に不可欠な医薬品や資機材、その他、経済活動に必要な物資を絶やすことなくお届けする等、日夜運送業務に励んでおります。

そこで同じエッセンシャルワーカーとされている医療や福祉等の事業者には慰労事業がありますが、同様のご支援があれば、職務にさらなる誇りと業務継続への大きな力になると存じます。

併せまして業務継続確保のため、今後ワクチン接種の実現の折りには、ぜひ優先的なご配慮を賜ればと思っております。

先ほど提出させていただきました要望書には、今申し上げました点を含め、トラック業界が都民生活と経済のライフラインとしての機能を発揮するうえで、必要な要望を取りまとめさせていただいております。

知事のご高配を賜りたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。

○司会 ありがとうございます。

それでははじめに小池知事からお願いいたします。

○小池知事 様々な観点からのご要望をいただいております。

その全体を総括する意味でのお話になるかと思いますが、まずエッセンシャルワーカーとして、本当にこの経済、そして生活の礎となる物流を担っていただいていることに、改めて感謝申し上げたいと思います。

そしてまたコロナの中であって、感染症の防止と経済社会活動との両立が大きな課題になっているわけでございます。

そういう中で、先ほども工事が遅れていたり、延期になったり、物流も今大きく、忙し

いところは無茶苦茶忙しくなっていたり、いろんなひずみが出ているかと思います。

そういう中で事業者の皆様の資金繰りの話ですけれども、これまでも都として制度融資等、様々な支援策を講じてきております。

改めてこの中小企業向けの融資制度についてお渡ししますので、それぞれ合ったその制度融資の有効利用をしていただければと、まず考えております。

それから都市づくりの観点からでございますが、道路ネットワークの形成、連続立体交差点事業の推進等、物流のさらなる円滑化をしっかりと進めていきたいと考えております。

東京の物流を支えていくためにも、引き続き連携、ご協力、お願い申し上げたいと存じます。よろしく願いいたします。

○司会 続いて健康危機管理担当局長、いかがでしょうか。

○健康危機管理担当局長 私の方からご要望の1番目、新型コロナウイルス感染症対策の拡充の中のウでございます。

ワクチン開発がされた場合の恩恵について、お答えさせていただきます。

現在、ご案内のように国におきまして、ワクチン等の確保に加えまして、流通体制の確保、それから接種体制の整備、そして副反応への対応とか、安全対策等の議論が進められております。

こうした国の動きを注視しまして、都としても検討してまいりたいと考えております。私から以上です。

○司会 ありがとうございます。本日いただきましたご要望につきましては、今後の都政の中でしっかりと生かしていきたいと思っております。

また、今後とも様々なご要望をいただきますように、よろしく願いいたしたいと思っております。

本日は都庁までお越しいただきまして、ありがとうございます。これでヒアリングを終わらせていただきたいと思います。ありがとうございます。

（東京都トラック協会 退室）

○司会 続きまして、東京都特別支援学校PTA連合会の皆様でございます。

（東京都特別支援学校PTA連合会 入室）

（要望書手交）

○司会 東京都特別支援学校PTA連合会の皆様、本日は貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございます。

それではヒアリング、意見交換会を始めさせていただきたいと思っております。

はじめに小池知事からお願いいたします。

○小池知事 おはようございます。新井会長をはじめ、PTA連合会の皆様方に今回で2回目になりますが、年末にヒアリング、現場のお話等を伺いたく、本日お越しいただきありがとうございます。

特別支援教育の充実、発展、そして福祉の向上という観点からもご尽力いただいております。

ます。感謝申し上げたいと存じます。

また、コロナで大変な影響が各所に及んでおりますけれども、特別支援学校につきましても、非常にコロナの特殊性も含めて極めて厳しい状況であったかと思えます。

障害のある子どもたちにとって、学習上の困難を軽減するというところに有効な教育のICT化を進めることも重要でございます。

そして全ての子どもたちの学ぶ意欲に応じて、その力を最大限に伸ばすための取り組みを、皆さんとともに考えていきたいと考えております。

今日は短い時間ではございますけれども、ご意見を伺わせていただければと存じます。よろしく願いいたします。

○司会 いただきましたご要望につきましてはタブレットの方で拝見させていただいております。

それではよろしく願いいたします。

○東京都特別支援学校PTA連合会（新井会長） 改めまして、おはようございます。

東京都特別支援学校PTA連合会会長の新井でございます。両サイドにおりますのは、各障害種別代表の会長でございます。どうぞよろしく願いいたします。

小池東京都知事並びに関係各局の皆様には、日頃より特別支援学校の教育の充実とPTA連合会の活動に格別のご配慮を賜りまして、また本日は貴重なお時間をいただきますこと、厚く御礼申し上げます。

私どもは視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、知的障害、病弱の5種別のPTAの連合会です。

本日は種別共通の現状と要望をお伝えさせていただきたいと思えます。

一点目ですが、ICTの機器を活用した教育の充実についてです。

ウィズコロナ、アフターコロナを見据えて、一人一台の学習用タブレット端末を子どもたちに配布してくださることに、深く感謝申し上げます。

今後、子どもたちが学校でも、家庭でも、ICT機器を使いこなせるように、全校に常勤のICT支援員を配置してくださることをお願いいたします。そして、その支援が保護者にも届くようにしていただきたいと願っております。

今後、再び臨時休業等になることも考えられます。その際、学校とのオンライン教育を進めるには、保護者自身はその使い方を熟知し、子どもたちが使えるように支援していかねばなりません。ICTが苦手な保護者も少なくありません。

支援員が保護者会や保護者向け資料で、家庭でのICT機器操作方法等ご教示いただけますと、保護者も安心です。

さらに病院や在宅で学ぶ子どもたちのICT環境を整えるには、ICT支援員の活躍が不可欠と考えております。

学校に寄り添ってICT活用を促進するICT支援員の配置を、ぜひお願い申し上げます。

次に特別支援学校の専門性を高めるための仕組みづくりです。

ここ数年、専門性の高い経験豊富な先生方が退職の時期を迎え、特別支援学校は世代交代が急速に進んでおります。

保護者が我が子に最善の教育を受けさせたいと、特別支援学校の門をくぐりました。専門性の高い先生に担任になってほしいと、誰もが強く願っています。

しかし、全ての学校で医療的ケアに取り組む等、新しい教育課題も増えてまいりました。

先生方は進路先や関係機関とも一生懸命連携してくださっていますが、先輩と授業について相談をしたり、教材研究をしたりする時間はなかなか持てないと伺っております。

若手の先生方に専門性を身に付けていただく仕組みを作り、保護者をぜひ安心させてください。

具体的には、指導力のある指導教諭の先生の数を増やしていただいて、若手の先生のコーチとして存分に働いていただけるようにしてください。

また、関係機関と調整を行う特別支援教育コーディネーターを1校に一人とは言わずに、小学部・中学部・高等部、それぞれ配置してください。

それによって、東京都独自の復籍制度を活用した教育の交流も進み、インクルーシブ教育も進展すると考えております。

東京都として特別支援教育の専門性向上を進める大きなプロジェクトを策定してくださいよう、お願い申し上げます。

三点目ですが、学校卒業後の就労支援と生涯学習の推進です。

特別支援学校の生徒の卒業後の進路は様々です。福祉就労を目指す生徒は事業所の数が十分ではなく、自分が希望する所ではない、卒業時に定員が空いているところを選択しなければならないことがあります。また、希望する所に入れても週5日、毎日通うことができない場合もあります。

ぜひ福祉就労事業所の拡充をお願いいたします。

また、就職先で仕事がかまくいかなない卒業生の多くは、学び直しをしたくても方法が分からない、再就職するのが難しい等の理由から家にこもってしまいがちになるとも、先輩の保護者から聞いております。

そこで、就労支援や生涯学習の相談窓口を増やし、教育庁と福祉保健局、産業労働局と連携した就労支援の仕組みづくりを要望いたします。

まずはジョブコーチの増員と、ジョブコーチによる継続した支援をお願いいたします。

相談窓口につきましては、私ども都特P連のOB・OGも協力いたしますので、ぜひ実現させてください。

特別支援学校の子どもたちが社会に出てからも学び続け、社会に貢献できるようになることは、知事が推進しておられる「インクルーシブシティ東京」や、誰もが生き生きと働き活躍できる東京ダイバーシティ「共生社会」の実現にも繋がると期待しております。

結びになりますが、小池知事の定例記者会見を毎回拝見しております。12月4日の会見

で、障害者週間について、コロナにより困っていることを障害種別ごとにご説明いただきましたこと、深く感謝申し上げます。障害のある子供を持つ保護者にとりましても、とても嬉しく、大変心強く思っております。ありがとうございました。

私どもからは以上です。どうぞよろしく願いいたします。

○司会 ありがとうございました。

それでは小池知事、お願いいたします。

○小池知事 立派な要望書も頂戴いたしました。

その中で私の方から何点かお伝えしたいと思います。

まずICT機器を活用した教育の充実についてのご要望でございます。

ICTの活用というのは、子どもたち一人一人の障害の状態に応じた、きめの細かい教育を実現するのにも有効でございます。

そのための教育環境を整えるということは重要と考えております。

今後も特別支援学校においてICT機器の配備、活用を促進して、教育活動の充実に取り組んでまいります。

また、最近のICT機器っていうのはいろんな聞き取りがすぐ文字になったり、いろいろともう日進月歩で改善もされているかと思えます。

そういった活用が子供さんの学びにプラスになること、期待をしているところであります。

それから専門性を高めるための仕組みづくりでありますけれども、全ての子どもたちがその力を最大限に伸ばして、将来の自立と社会参加ができるように支えていくということは、新たな課題対応できるように、特別支援教育の充実を常に図っていくことは重要と考えております。

これからも個々の教育的ニーズに応える教育の実現に向けまして、引き続き東京都として取り組んでまいりたいと思います。

それから三つ目に就労支援と生涯学習の推進でございますが、誰もがともに支え合う社会の実現、インクルーシブな社会でありますけれども、そのためには学校、地域等、様々な場面で、人々がともに活動する機会を充実させていくということが重要であります。

これからも就労、そして生涯学習に対する支援を行うということで、多様な人々が互いに尊重し合って共生する意識を高めることができますように、取り組んでまいります。私からは以上でございます。

○司会 本日はありがとうございます。いただきましたご要望につきましては、今後も都政の中で活かしていきたいと思っております。

また、今後とも様々なご意見をいただきますように、よろしく願いいたします。

本日は都庁までお越しいただきまして、ありがとうございました。これで本日のヒアリングを終わらせていただきたいと思います。ありがとうございました。

（東京都特別支援学校PTA連合会 退室）